

研修会&総会 役員改選 新会長に東方田博子さんを選任



給与適期毎に
ビタミンの種類は
異なります

なるほど

研修会は、二部構成で行われ、第一部は、広酪の西中晃参事が「最近の酪農情勢」として、中国生乳販連が改正畜安法のもとで平成三十年度の加工原料乳生産者補給金並びに集送乳調整金の交付を得るべく申請手続きを進め、四月一日付けで認可を受けたことや、広酪の生乳生産基盤に関する事、昨今話題の牛乳風味に関する事、平成三十年度の国等の補助事業の紹介とともに、広酪の西部地域管内の組合員から広島県農業再生協議会が示した平成三十年度の経営所得安定対策・水田フル活用のパンフレットに記載の「水田活用の直接支払交付金」の内、耕畜連携助成金(二万三千元/10a)や、飼料作物栽培二毛作時の交付金が除外されており、これら広酪から行政や関係団体への対応を求める要望が届き、その対応にあたる方向性を述べた。

このほか、去る三月二十日に「ひろらく女性グループ連絡協議会が熊本県から講師として迎えた富安麻紀子さんの講演内容や、パネルディスカッション、出席者の感想も紹介した。この会に参加した会員の柿原ちとみさんや、渡辺沢子さんからは、先般の講演会は「講師は、関連で大変元気をもらえ素晴らしかった。講演内容は、大変良かった」と、当日参加出来なかった会員に話題提供された。

四月四日 北広島町 NOSA-北広島診療所二階

第二部では、全酪連三次駐在員事務所の牛島隆一所長が、昨今の乳用初妊牛の高騰要因に触れ、これは畜産クワスターによる規模拡大の影響もあるとして紹介するとともに、全酪連が推奨する「乳牛の健康管理プログラム」からステージ別の添加物メニューとして「健康維持のための定期給与」、牛が必要とする時期に必要な添加物を給与する「選択給与」があり、特に、体細胞数の視点では、乾乳前から分娩に至る乳腺細胞や分泌ホルモン変化を考慮した添加剤の給与は重要と強調し、参加会員は具体的な説明に目を輝かされていた。

このほか、乳頭口からの雑菌侵入を防ぐ方法として、ホームセンターで販売される草焼きバーナーを改良した(ちよる焼きくん改)を紹介された。

研修会の後、総会では①平成二十九年度事業報告・収支決算、②平成三十年度事業計画・収支予算等を議案上程し、原案通り承認された。

平成三十年度の会員は、前年度から三名減少し、新たに会員加入を呼びかけることを申し合わされた。

役員改選では、砂子靖子会長の後任に東方田博子さんを選任、副会長・監事に福原美江さん、会計事務

に三戸郁代さんが選任された。

同総会では、広酪西部事業所の廃止で、会員が拠り所を失い、会場の都度、お茶や茶道具などを持ち寄り、専属的に借用できる場所が無いことは残念である。地元農協が所有する施設で適当なところが無いのかとの悩みの声があがり、広酪で地元農協との調整をしてほしいと求められた。四月十三日には、北広島町酪農団体連絡協議会主催の総会・花見会が催される予定にあり、ここで意見調整を図る方向とされた。

以上した後、食事に入り会員から差入れられた手料理やお菓子を食しながら意見交換に入り、終始なごやかに談笑された。

広島市酪農振興協議会

三月十六日 (こゝろ) 寿司

会員減少により 解散を総会決議

広島市酪農振興協議会(会長・渡辺和裕・事務局(公財)広島市農業振興センター)は総会を開催し、会員五名の内四名が出席され、上程された二議案を可決した。広酪からは鈴木道弘専務と和田千順係長(生産振興課)が出席した。

同協議会は、会員減少から平成二十九年度をもって解散する議案を承認され、今後は和牛部会で活動が続けられる。

総会終了後は、最後の懇親会が行われ、時代の趨勢とは云え解散を惜しまれていた。



庄原地域酪農振興会

三月二十七日 岡山県農林水産総合センター畜産研究所

先進的「酪農機器」視察 搾乳ロボ「費用メンテに課題!？」

庄原地域酪農振興会(会長 赤木靖)は、庄原市酪農連絡協議会と東部地区酪農青年部への参加を呼びかけ、総勢二十三名が岡山県農林水産総合センター畜産研究所を視察した。

同センターでは、四十五頭搾乳の搾乳ロボット(LELY4)を五年前に導入。牛舎は既存の繋ぎ牛舎を改造しフリーストール。搾乳ロボットでの飼料給与は、同センターの自給飼料を飼料業者に持ち込み、オリジナルのTMR製造を委託。

その他の施設では、掃き寄せロボットや建設中の哺乳施設の搾乳ロボットも見学。

参加者の中には「掃き寄せロボットの導入を検討したい」との感想や、搾乳ロボットの導入後のメリットとデメリットの質問等があった。

搾乳ロボットの導入価格は約三千万円で高額。更に搾乳ロボットは五年が経過し、トラブルが多く発生。尚且つメンテナンス費用は年間百五十万円と驚きの価格と維持費といった感想であった。

三原市酪農振興会

三月八日 三原市久井町「法泉寺」

厳かに酪農慰霊祭 久井倉庫閉鎖に寂しさ残る



三原市酪農振興会(会長 新舎和久)は、法泉寺にて酪農慰霊祭を開催し、会員六名と指導機関からの出席を合わせ十六名が参加して家畜供養を行った。

新舎会長からは、功労牛や愛牛に対しての御礼が述べられ、法泉寺住職の読経の元で厳かに進められた。

その後は昼食を兼ねた懇親会が行われ、広酪久井倉庫の閉鎖に伴う寂しさが語られた。今後は同振興会の活動場所としても使用しない旨の整理がなされ、振興会の備品等の整理を行うこと等の話し合いがもたれた。

寂しさの中にも和やかに懇親を深められた。

庄原ミルクの会

三月十九日 府中市上下町

天領上下ひなまつり観覧 お久しぶり！樽ちゃん



(樽ちゃんを田んで記念撮影)

庄原ミルクの会(会長 市川美智子)は、会員九名が参加して、明治時代に雛人形を買うお客で賑わったとされる上下町商店街・白壁の町並み通りで行われた天領上下ひなまつりを楽しんだ。広酪からは藏崎哲治課長補佐(生産振興課)が同行した。

当日は、生憎の雨ではあったが、おもてなしの心と出会いを大切にすることを込めて、餅花や飾りおひなさまがそれぞれのお店で展示されており、人形達の優しい表情に心が癒されるようであった。

その後は、広酪OGの樽好美子さんの営む「樽ちゃんうどん」で昼食をとられ、皆さん、久しぶりに樽好さんに会えたとあって、昔話や近況報告で盛り上がった。